

(写)

令和6年11月18日

大江町教育委員会
教育長 清野 均 様

大江町の学校のあり方検討委員会
委員長 中井 義時



大江町の小中学校のこれからのあり方について (答申)

令和5年8月28日付けで諮問のありました「大江町の小中学校のこれからの望ましいあり方について」、本検討委員会で慎重に検討した結果、下記の意見を示します。なお、答申の詳細な内容については別紙の報告書に記載します。

記

◇諮問への答申

1. めまぐるしく変化する社会や教育の動向、大江町の児童生徒数の減少等を考慮し、小学校と中学校を一つにした新しいシステムの学校（義務教育学校）を創設すること。創設にあたっては、将来にわたり質の高い安定した教育ができる形態や環境を見据え、時期、場所等について十分な検討を行ったうえで進めていくこと。
2. 今後、小学校において複数の複式学級の発生が見込まれることから、小学校の先行統合を行い、小中一貫教育を段階的に進め、小学校と中学校を一つにした新しいシステムの学校（義務教育学校）教育が円滑に進められるようにすること。
3. 小学校と中学校を一つにした新しいシステムの学校（義務教育学校）を創設する取組と同時に、『大江町だからこそできる魅力ある学校教育（地域の方々と一緒に取り組む探求的な学びや自然を生かした体験活動などを通した「共生教育」）』について、学校のみならず、保護者、地域の方々も含め、大江町全体でさらに深め、共有していくこと。

以上